

# イノベーション実現に向けた大学知的資産マネジメントの在り方について 第1次提言(概要)

## ～大学における未来志向の研究経営システム確立に向けて～

(平成27年8月5日 科学技術・学術審議会 産業連携・地域支援部会 競争力強化に向けた大学知的資産マネジメント検討委員会)

### 本検討委員会の主な論点

イノベーション実現に向けた大学の変革を促していくために、

- ✓ 大学の知的資産※をどのようにマネジメントしていくべきか
- ✓ 理想的な知的資産マネジメントの実現のためにどのようなシステム改革が必要となるか

※知的資産:「人(研究人材等)」「モノ(知的財産や研究インフラ等の固定資産等)」「金(研究開発投資の財源等)」

### 昨今の大学改革を巡る主な論点

ガバナンス改革

国立大学法人運営費交付金の在り方

競争的研究費改革

### 議論の前提としての留意点

- ✓ 大学や民間企業は、近年の科学技術を巡る環境の変化を踏まえた上で、相互に連携・協働しながら研究開発を進めることが必要
- ✓ 今後は、大学は、公的資金のみならず、財源の多様化によって獲得される資金を投入して戦略的に研究を進めていくことが必要
- ✓ 大学の役割(学術的な価値の追究)と民間企業の役割(イノベーション)の差異を十分に理解することが必要
- ✓ 萌芽的研究は、将来の研究開発の種であり、その重要性を大学及び民間企業の双方が認識することが必要
- ✓ 大学のインテグリティ(社会的な信頼)が毀損されないようリスクマネジメントが必要

### 全学的な知的資産マネジメントの必要性

- 学長を支え経営の一翼を担う人材として、知的資産マネジメントの能力や経験を兼ね備えた専門人材が必要
- 国は、全学的な知的資産マネジメント体制の見直しに力を入れる大学を積極的に評価し、財政面等において支援することが必要
- マネジメント人材のキャリアパスの提示や、それを可能とする社会システム構築も必要
- 各大学の優秀な教員に対して、知的資産マネジメントに係るスキルや知識等を教育する機会やシステムを構築することが必要
- 知的資産マネジメントに携わる教職員の業績をこれまで以上に評価することが必要

### イノベーション実現に向けた効果的な産学官連携の在り方

- 大学組織と民間企業という「組織対組織」による共同研究について活性化を図ることが重要
- 世界レベルの教育、研究、事業化に向けた取組を一体的に行えるような深化した産学官連携システムの構築と体制整備が必要
- 強い大学発ベンチャー創出の加速に向けて、事業化を念頭においた知財マネジメントや創業前段階からの経営人材との連携、起業に挑戦しイノベーションを起こす人材の育成が重要
- 産学官連携活動に学生が参加する場合には、学生という身分と矛盾が起きないようなマネジメントが必要
- 学生(特に博士・修士課程)やポスドクを研究の主要な担い手と位置づけ、そのエフォートに見合う経済的報酬が得られるようにすることが必要

### イノベーション実現に向けた財源の多様化

- 間接経費に係る取扱いを通じて、大学のマネジメントに対する意識改革につなげていくことが重要
- 民間企業との共同研究における間接経費の増加に向けては、大学側がその必要性の根拠を示していくことが必要
- 共同研究における間接経費の必要性に係る根拠の算定モデルについて検討することが必要
- 個人や企業等から大学への寄附を増やしていくための税制改正等が必要
- 民間企業の寄附に対する発想を転換し、寄附を通じた戦略的な産学連携を促進していくことが必要



本提言を踏まえつつ、大学と民間企業との間における間接経費算定モデルの策定や、オープン・アンド・クローズ戦略を踏まえた知的財産マネジメントの在り方をはじめとした、本委員会で提起された課題等について、引き続き検討していくことが求められる。